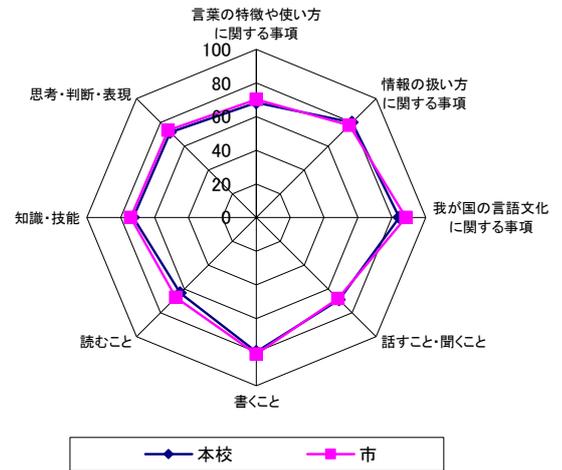


宇都宮市立城山中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	68.3	70.2	64.7
	情報の扱い方に関する事項	80.0	77.6	71.1
	我が国の言語文化に関する事項	84.4	88.3	79.1
	話すこと・聞くこと	69.2	68.2	67.4
	書くこと	79.8	81.1	71.7
	読むこと	63.5	67.2	61.3
観点別	知識・技能	72.6	74.2	67.9
	思考・判断・表現	71.7	73.5	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

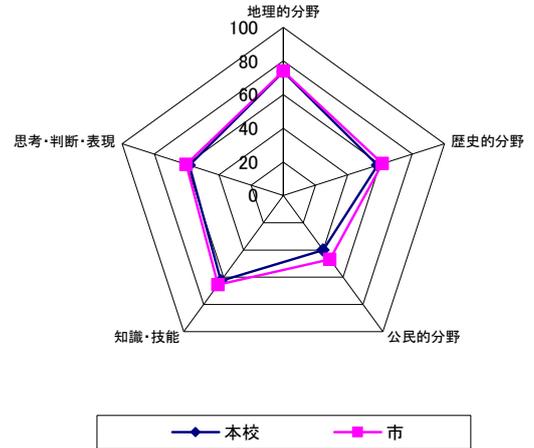
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の特徴や使い方に関する事項において市の正答率より約2ポイント低い。 ●助動詞の正答率が、市の正答率より下回っている。 	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きが定着していないので、定期的に奇襲漢字の読み書きテストを行い、補充していく。 ・文法の単元を工夫し、復習の時間を増やすなど、言語事項の既習事項の定着を、定期的に確認していく。また、その回数を増やすことで補充していく。
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の扱い方に関する事項が市の正答率よりも2.4ポイント高い。 ○「情報と情報との関係について理解し、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している」が市正答率より5.4ポイント高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係について理解し、それを自分の考えに生かして文章に書くという授業を定期的に行った成果であるので、今後も継続していく。 ・自分の考えを分かりやすく伝える文章を書くために必要な情報を取捨選択し、構成についても学習する授業を行い、補充を図る。
我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ●市の正答率よりも3.9ポイント低い。 ○歴史的仮名遣いについての理解は、市正答率よりも2.9ポイント高い。 ●「現代語訳を手がかりに古典を読む」が、市正答率よりも10ポイント低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いは、中学1年次から、規則性を含め、こまめに確認している成果であるので、今後とも継続していく。 ・古典に対する苦手意識があり、内容の読解まで至らないケースが多いと思われる。内容がわかりやすい御伽草子などを利用し、読解の足がかりとなる授業を補充していく。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○市の正答率よりも1ポイント高い。 ○「話の展開を予測しながら聞く」ことが、市正答率よりも2.4ポイント高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りテストを行う前に、どのようなポイントで話を聞き取るべきかを確認し、テストを行ってきた成果であるので、今後とも継続していく。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●市の正答率よりも1.3ポイント低い。 ○「指定された長さで、自分の考えを明確にして書く」ことが市正答率より4ポイント高い。 ●「自分の考えが、目的や意図に応じた表現になっているかを確かめて文章を整える」が市の正答率よりも13ポイント低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文をはじめ、授業で条件をもとに、自分の考えを書くことを積み重ねてきた成果はある程度表れている。時間なども意識して書かせる授業を積み重ねて補充を図る。 ・自分の考えが、目的や意図に沿っているのかを検証し、推敲する授業内容を取り入れることで、改善を図る。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●市の正答率よりも3.7ポイント低い。 ●「論理の展開の仕方を捉える」が市の正答率よりも約10ポイント低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開については、説明的文章の単元において、段落構成について考える授業内容を、物語の単元において、伏線や場面展開に着目した授業内容を取り入れ、補充をすることで、改善を図る。

宇都宮市立城山中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	73.7	74.0	67.9
	歴史的分野	58.5	61.5	56.1
	公民的分野	40.0	46.9	40.7
観点別	知識・技能	62.7	65.5	60.6
	思考・判断・表現	58.3	60.2	52.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

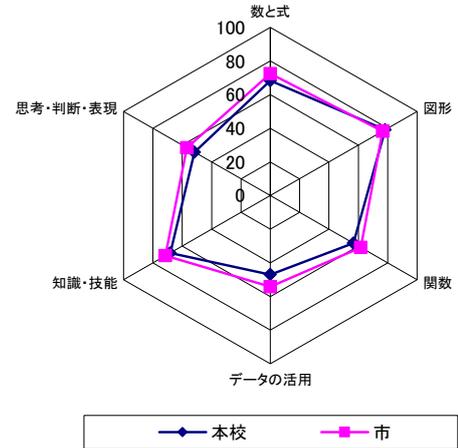
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>○世界の姿について、資料の会話文をもとに考察する問題では、市の正答率よりも6.8ポイント上回っている。</p> <p>○環境問題について、複数の資料を関連づけて考察し、表現する技能において、市の正答率よりも1.6ポイント上回っている。</p> <p>●日本の気候については、市の正答率よりも9.1ポイント下回っている。</p>	<p>・世界の姿の学習においては、世界的な視野から日本を一つの地域としてとらえさせ、日本全体の視野から大まかな国内の地域差に着目させたりしながら、日本の国土の特色を理解させる。また、日本の気候を生かした農業については、地形や気候に着目させながら、日本全体の特色を理解させる。</p> <p>・日本の地形の特色を景観写真や地図などを用いて、その特色を理解させる。</p>
歴史的分野	<p>○弥生時代の暮らしについての知識問題は、市の正答率を2.3ポイント上回っている。</p> <p>○江戸幕府の享保について、考察する問題では、市の正答率を2.2ポイント上回っている。</p> <p>●世界の古代文明についての理解をもとに、資料を読み取る問題では、市の平均より9.7ポイント下回っている。</p>	<p>・歴史学習は、ただ暗記する学習ではなく、歴史の大きな流れや因果関係を捉え、歴史的な見方・考え方を習得させる。具体的には、歴史に関わる事象の意味や意義、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりを様々な視点から考察できるよう、実物資料や過去の映像等を用いる。</p>
公民的分野	<p>○公共の福祉についての問題では、市の正答率よりも7.1ポイント上回っている。</p> <p>●日本国憲法三つの基本原理については、市の正答率を19.3ポイント下回っている。</p> <p>●さまざまな新しい人権が認められるようになった背景について考察し、自分の言葉で表現する問題では、市の正答率を5.8ポイント下回っている。</p>	<p>・公民の授業では、現代社会に見られる少子高齢化やグローバル化の進展による経済格差等の課題について、多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、また思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論させたりすることにより表現する力を養っていく。</p> <p>・授業において、調べ学習やグループワーク、話し合い活動といった対話的活動を取り入れた授業の展開、また多様な意見や考えが生まれる発問や課題を設定する。</p>

宇都宮市立城山中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	68.4	72.5	71.3
	図形	78.3	76.5	68.1
	関数	56.6	61.7	50.3
	データの活用	47.0	54.2	43.5
観点別	知識・技能	68.1	71.5	66.7
	思考・判断・表現	51.6	56.9	45.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

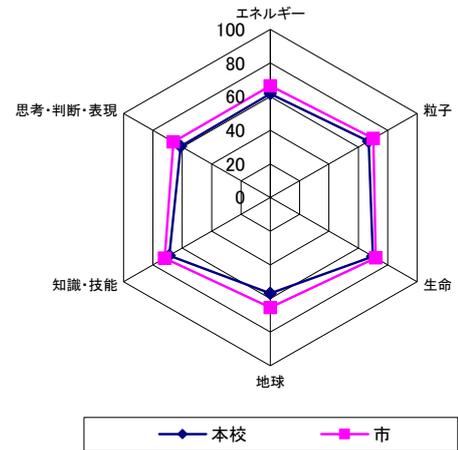
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<p>○連立方程式の文章問題は、市の正答率を5.2ポイント上回った。</p> <p>●市の正答率を4.1ポイント下回っている。</p> <p>●平方根の大小や根号を含む式の加減についての問題において、理解が不十分な生徒が多い。</p>	<p>・「数と式」の分野では、計算の過程を重視することと繰り返し計算問題を解くことを行い、計算テストなどを行いながら、理解度を確認し指導する。</p> <p>・平方根の定義や成り立ちを十分に理解させる指導を行う。</p>
図形	<p>○領域として市の正答率を1.8ポイント上回った。</p> <p>特に垂線の性質を問う作図問題や対称移動では市の正答率を8.0ポイント以上上回っている。</p> <p>●証明の必要性と意味について答える問題の正答率が低い。</p>	<p>・証明に関しては、定理(根拠となることから)を覚えることや、証明の手順の見通しをもって取り組めるように指導する。</p> <p>・合同条件や相似条件について、反復練習を行い、知識の定着を図っていく。</p>
関数	<p>○グラフをから比例の関係を読みとり、値を求める問題では市の正答率を5.1ポイント下回っている。</p> <p>●関数と図形の複合問題において、校内と市ともに正答率が低い。</p>	<p>・用語の持つ意味といった基礎的な知識の定着を図るとともに関数の有用性を実感できるような指導する。</p> <p>・表・式・グラフは表現の違いはあれど、根本的には1つに繋がっていることを理解させ、問題に合った答え方を選択できるように指導する。</p>
データの活用	<p>○1個を取り出す確率を求める問題では、正答率が8割を超えている。</p> <p>●領域として市の正答率を7.2ポイント下回っている。</p> <p>●箱ひげ図と四分位範囲について理解度を図る問題では、正答率が29.1ポイントと低い。</p>	<p>・中央値を使った箱ひげ図が持つ意味やデータ分析の方法の有用性について学習させる。</p> <p>・順列と組み合わせの違いについても触れ、複雑化した問題にも取り組ませる。</p>

宇都宮市立城山中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	61.7	66.5	61.2
	粒子	67.0	70.2	62.3
	生命	69.9	71.8	65.7
	地球	57.0	65.4	61.0
観点別	知識・技能	68.8	72.0	67.3
	思考・判断・表現	61.0	66.0	58.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

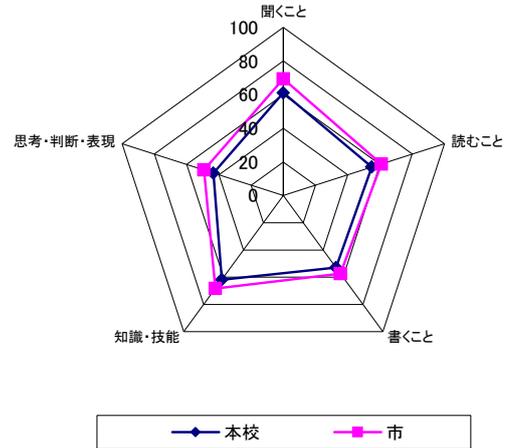
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●市の正答率より4.8ポイント下回っている。 ○音の伝わり方について概ね理解できている。特に2つの音さの間に板をおいたとき、空気の振動が伝わりにくくなり、音も伝わりにくくなることを理解できている。 ●消費電力を比較して、消費電力の小さなLED電球を使うと消費電力の節約になることを説明できない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・光や音の現象の観察・実験を行い、体験を通して生徒が現象を理解できるような授業展開を行う。 ・オームの法則や電力の測定実験を行った後に、電力や消費電力を求める練習問題に取り組み、電力や消費電力を計算によって求められるように指導する。 ・情報を自分なりに整理し、他者の考えが正しいか検証させる機会を意図的に設けた授業を行う。
粒子	<ul style="list-style-type: none"> ●市の正答率より3.2ポイント下回っている。 ○BTB溶液の色と水溶液の性質について概ね理解できている。 ●酸化銀を加熱・分解する実験において、実験結果を考察して、実験操作の改善策を考えられない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶液の性質をBTB溶液やリトマス試験紙などの指示薬を使って調べる実験を行う。 ・炭酸水素ナトリウムの加熱・分解の実験を行い、安全に実験を行い、適切な実験結果が得られるように支援する。 ・授業のふり返りの場面で、自分の考えを書かせ、文章で表現する力を身につけさせる。
生命	<ul style="list-style-type: none"> ●市の正答率より1.9ポイント下回っている。 ○シダ植物とコケ植物のからだのつくりの違いを概ね理解できている。 ○消化のしくみや食べ物が最終的に何に分解されるか概ね理解できている。 ●孫に伝わる遺伝子の組み合わせを理解できていない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の体のつくりの学習で、基本的な分類の観点の基準を身につけられるように指導する。 ・メンデルの法則の学習で、遺伝子を視覚的に捉えるモデルを活用して、形質が遺伝子によって伝わることを理解させる。
地球	<ul style="list-style-type: none"> ●市の正答率より8.4ポイント下回っている。 ○寒冷前線付近にできる雲について、概ね理解できている。 ●マグマのねばりけと火山噴出物の性質を関連付けて推測することができていない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を用いて、雲ができる様子や前線付近の雲の様子を理解させる。 ・映像資料を用いて、マグマのねばりけと火成岩の特徴とを関連付けて理解させる。 ・単元の学習後に、学習した内容を自分の文章や図にまとめて発表させる。

宇都宮市立城山中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	61.1	69.4	63.8
	読むこと	54.9	60.8	55.6
	書くこと	52.9	57.5	47.8
観点別	知識・技能	61.8	68.3	64.1
	思考・判断・表現	43.4	49.2	37.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的话题についての英文を聞き、要点を捉える問題では、正答率が78.8%で多くの生徒が正解している。 ○ 日常的话题の英文を聞き、その要点を捉える問題では、正答率が78.8%で多くの生徒が正解している。 ● 物の説明を聞き、その内容に合う絵を選ぶ問題では、市の平均より9.7ポイント下回っている。 ● 聞くこと全体の正答率が市の平均よりも8.3ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な状況が見られるもの ● 課題が見られるもの ・人やものを説明する英文を聞き、概要や特徴を捉えながら英文を聞く力を養う。 ・資料を見ながら対話を聞いて、要点や概要を捉える力を養う。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英文を読んで、適切なポスターを選ぶ問題では、市の平均よりも2.1ポイント上回っている。 ○ 対話文の情報を正しく読み、その内容を理解する問題では、正答率が82.5%で多くの生徒が正解している。 ● 対話文を読み、現在完了の基本的な語形・語法を用いる問題では、市の平均よりも9.0ポイント下回っている。 ● 読むこと全体の正答率が市の平均よりも5.9ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の長い文章を読む際に、接続語や指示語に注意しながら読むことを意識させ、英文の大まかな流れを捉えるように指導する。 ・語彙力をつけるため、授業で英単語や熟語をアウトプットする機会を増やす。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4文型の語順を理解して正確に書く問題では、市の平均よりも8.3ポイント上回っている。 ○ 対話の流れに合う英文を正確に書く問題では、市の平均をポイント上回り、半分の生徒が正解できた。 ● 比較の語順を理解して正確に書く問題では、市の平均より11.9ポイント下回っている。 ● 書くこと全体の正答率が市の平均よりも5.1ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの事柄を複数の表現を用いて、英語で書くように指導し、表現力を身に付けさせる。 ・なるべく簡単な文法や語彙を用いて、自身の言いたいことを英語で書く練習を増やす。

宇都宮市立城山中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習目標の明確化と定着のための振り返りの充実、指導法や授業形態の工夫による学力の向上	「本時の目標」の掲示カードを各教室に用意して授業開始で学習目標を確認、最後に振り返りを行うことで学力定着の充実を図る。	全学年とも「学習した内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習に生かしている」の肯定的回答が市の平均を下回っている。
学習習慣の定着を目指す指導の充実	「宿題プラスワン」を地域学校園での合言葉とし、自主的な家庭学習への取組を習慣化させ、基礎・基本の定着を図るとともに、自主的に学ぶ意欲を高める。	家庭学習についての質問で、1,2年生はほとんどの項目で市の平均を下回っているが、3年生はほとんどの項目で市の平均を上回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・3年生の授業への取り組みや学習に対する気持ちや態度については、ほとんどの項目で市の平均を上回っている。しかし、それぞれの教科での正答率は市の平均を下回っている。学習の仕方の中で、内容を振り返り、次の学習につなげる肯定的割合も下回っている現状があり、授業内容の定着のための振り返りを充実させる授業の改善を工夫していきたい。

・「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」の項目は1,2年生は市の平均よりも下回っている。次年度も引き続き、家庭学習の習慣化と自主的の学習に取り組む姿勢の指導を充実させていきたい。